

研究発表会開催通知

(昭和 59 年 4 月 15 日～5 月 31 日)

研究会	日	時	会場	備考
マイクロコンピュータ	4月24日(火)	14:00~17:00	機械振興会館	前号参照
知識工学と人工知能	5月8日(火)	13:30~17:00	同上	下記参照
日本文入力方式	5月9日(水)	13:30~17:00	同上	同上
分散処理システム	5月18日(金)	9:00~14:00	中国電電	同上
設計自動化	5月22日(火)	13:30~17:00	商業界会館	同上
コンピュータビジョン	5月24日(木)	13:00~17:00	名古屋市 工業研究所	同上
自然言語処理	5月24日(木)	13:00~17:00	K D D 研	同上
計算機アーキテクチャ	5月25日(金)	10:00~17:00	広 大	同上
ソフトウェア工学	5月30日(水)	13:30~17:00	機械振興会館	同上

◆ 第 34 回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数：6 件)

(主査：志村正道，幹事：石塚 満)

日 時 昭和 59 年 5 月 8 日 (火) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階研修 1 号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電：浜松町下車, バス：渋谷一東京タワー線東京タワー, 等々力一東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211]

- 議 題**
- (1) ロジックプログラミング国際シンポジウム参加報告 中島秀之 (電総研)
[概要] 米国アトランティックシティで 2 月 6～9 日に開催された 1984-International Symposium on Logic Programming の参加報告。
 - (2) 前方後円墳データベース REDATO 小沢一雅 (大阪電通大)
[概要] 前方後円墳に関する考古学的研究を支援する目的で構築した REDATO について基本構成, 問合せ言語, 機能等に焦点をあてて報告する。
 - (3) 算術問題解答システム 桜井成一郎, 志村正道 (東工大・工)
[概要] 自然言語でかかれた算数の問題を基本的な公式を組み合わせることで解くシステムについて述べる。
 - (4) Fuzzy 論理を組み込んだ Prolog-ELF 金井直樹, 石塚 満 (東大・生研)
[概要] Fuzzy 論理を組み込んだ Prolog-ELF を開発した. ELF の概要と, その応用例について述べる。
 - (5) 知識ベースを用いた SDL 支援システム 加藤英樹 (富士通研)
[概要] 知識工学の手法を応用した, 交換システム用機能仕様記述言語 SDL の開発支援システムについて報告する。
 - (6) 参考文献解析エキスパート 小林重信, 畝見達夫, 望月浩史 (東工大)
[概要] 科学技術論文における参考文献リストを解析して, データベースに登録

するエキスパートシステムを作成した。

◆ 第 15 回 日本文入力方式研究会

(発表件数：3 件)

(主査：山田尚勇，幹事：坂下善彦，首藤正道)

- 日時 昭和 59 年 5 月 9 日 (水) 午後 1 時半～5 時
会場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)
- 議題 (1) 自習システム NSTUDY について 一日本語処理教育実践の報告—
舟橋祥子，太田義勝，羽賀隆洋 (名大・情報処理教育センター)
〔概要〕 日本語処理教育の実践に基づき各人の学習能力によって独習できるシステムを作成した。この試用結果について報告する。
- (2) かな漢字変換用かな入力最適化の試み 竜岡 博 (リップス)
〔概要〕 文章の作成・修正の作業速度を大幅に向上させ，ミス・疲労を大幅に減少させることができるキー配列。
- (3) 日本文における付属語の統計的性質 山内佐敏 (リコー)
〔概要〕 かな漢字変換方式のパフォーマンスに大きな影響のある日本文における付属語の統計的性質，とくに
- 1) 付属語の出現確率
 - 2) 付属語の接続確率
- についての解析結果を発表する。

◆ 第 22 回 分散処理システム研究会

(発表件数：9 件)

(主査：野口正一，幹事：河岡 司，白鳥則郎)

- 日時 昭和 59 年 5 月 18 日 (金) 午前 9 時～午後 2 時
会場 中国電電ビル 7 棟 14 階大会議室
〔広島市中区基町 6-77，国鉄：広島駅下車，市電・市バス：紙屋町下車，徒歩 1 分，Tel. 082 (226) 2837〕
- 議題 (1) インテリジェント LAN の試作
戸井哲也，高橋範泰，沖田明光，相原玲二，阿江 忠 (廣大・工)
〔概要〕 高位レベル (セッション) の一部までノード・コントローラにもたせた LAN (DRAON) の試作を行ったので報告する。
- (2) LAN 上の OA 言語 OPAL で記述した文書転送プログラムの分散実行
宇都宮速人，岩本一男，翁長健治 (廣大・工)
〔概要〕 オフィスでの文書転送の諸例を LAN 環境での OA 言語 OPAL で記述し，その有用性を検証する。
- (3) IDL：ネットワークソフトウェアの設計記述言語
高橋 薫，白鳥則郎，野口正一 (東北大・通研)
〔概要〕 計算機網のソフトウェアを記述，インプリメントする言語 IDL を提案し，記述例を通してその有効性を述べる。
- (4) 分散形システムの試験・評価を行うテストベッドシステム
菊野 亨，吉田典可，池田 実，石田賢二 (廣大・工)
〔概要〕 分散形システムの柔軟，高精度な試験，評価を短時間で行うテストベッドシステムのアーキテクチャを提案する。

- (5) 複数端末のディスプレイ画面を同一に保つ分散処理方式の一考察
神宮司誠, 葛山善基, 森 卓郎, 河岡 司 (横須賀通研)
〔概要〕 画面表示を含む各種アプリケーションプログラムの同期走行を可能とする
端末用通信制御方式について述べる。
- (6) オブジェクト指向に基づいた分散処理用ワークステーションの考察
佐郷 司, 武内春夫, 中沢克彦, 松下 温 (沖電気)
〔概要〕 ローカルネットワーク環境において, オブジェクト指向に基づくワーク
ステーションの分散処理に対する有効性, 問題点等を示す。
- (7) 分散データベースの並列性を向上させる同時実行制御方式の考察
丸本 悟, 岩本一男, 翁長健治 (広大・工)
〔概要〕 トランザクションの待ちグラフにおける独立点集合を並列処理するアル
ゴリズムについて考察する。
- (8) 仕様記述言語 Tell/NSL によるプロトコルの仕様記述とその検証
榎本 肇, 米崎直樹, 佐伯元司, 荒俣 博 (東工大・工)
〔概要〕 仕様記述言語 Tell/NSL を用いた多層構造を持つ通信プロトコルの仕様
記述と, それを用いた検証について報告する。
- (9) OSI トランスポート・プロトコルのインプリメントと製品検証
鈴木健二, 加藤聰彦 (KDD 研)
〔概要〕 OSI トランスポート・プロトコルのクラス 0, 1, 2, 3 を実システムに
インプリメントしたのでその結果と製品検証について報告する。

◆ 第 21 回 設計自動化研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 村井真一, 幹事: 上原貴夫, 向殿政男)

- 日 時 昭和 59 年 5 月 22 日 (火) 午後 1 時半～5 時
会 場 商業界会館 2 階大会議室
〔東京都港区麻布台 2-4-9, 地下鉄: 日比谷線神谷町, バス: 渋谷一東京タワ
ー線東京タワー, 等々力一東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, 飯倉交差点角
Tel. 03 (584) 7311〕
- 議 題 (1) データパス系機能ブロック自動設計の一手法 高木 茂 (武蔵野通研)
〔概要〕 レジスタトランスフェレレベル論理仕様の並列動作解析に基づき, 準最適
データパス構成を生成する手法を示す。
- (2) データパス系機能ブロック検証・補正への 1 アプローチ
高木 茂 (武蔵野通研)
〔概要〕 レジスタトランスフェレレベル論理仕様とデータパス系機能ブロックの整
合性検証法, 不整合時の原因解析・対策立案手法を示す。
- (3) 不確定入力に対する論理関数の評価の拡張
井口幸洋, 向殿政男 (明大・工)
〔概要〕 不確定入力に対する論理関数の評価法を論理関数が, don't care を含む
場合に拡張し, 実験に基づき比較, 検討する。
- (4) 時相論理と Prolog を用いたゲート回路の効率の検証
藤田昌宏, 西山 智, 田中英彦, 元岡 達 (東大・工)

〔概要〕 階層記述言語 HSL で記述されたゲート回路を効率的に検証するシステムを Prolog を用いて試作したので報告する。

(5) スキャンデザイン用テスト発生システム (DALG-T)

立石昭光, 新田 進, 河村匡彦 (東芝)

〔概要〕 D-アルゴリズム+乱数で入出力縮退故障と、クロックのテストを発生しテスト用パターンに変換するシステム。

◆ 第30回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 辻 三郎, 幹事: 木戸出正継, 杉原厚吉)

日時 昭和59年5月24日(木) 午後1時~5時

会場 名古屋市工業研究所

〔名古屋市熱田区六番町 3-4-41, 国鉄: 名古屋駅下車, 地下鉄: 東山線藤ヶ丘方面行き, 栄にて名城線名古屋港行き(新端行きは不可)に乗換, 六番町下車, ホームに案内板あり. Tel. 052 (661) 3161〕

議題 (1) 画像処理手法を応用した手ぶれ検出装置

中嶋正之, 安居院猛 (東工大), 中内健二, 柳川和雄 (富士フィルム)

〔概要〕 デジタル画像処理技法を応用したカメラの手ぶれ検出装置の構成方法について述べる。

(2) 正射影速度場からの関節物体の立体情報復元法

柴田 勉, 杉江 昇 (名大・工)

〔概要〕 正射影された関節物体の2次元像における位置と速度の情報を利用して、その立体構造を復元する。

(3) オプティカルフローにおける回転成分と並進成分の局所オペレータを用いた分離法

小林裕忠, 杉江 昇 (名大・工)

〔概要〕 観測者を中心とする単位球面上のオプティカルフローから、局所オペレータを用いて、その両成分を分離する。

(4) 簡易な画像処理システムの開発とその産業応用

興水大和 (名古屋市工研)

〔概要〕 マイコンやミニコンによる簡易な画像・図形処理システムの具体例(機器構成, ソフトウェア)を応用実例と共に紹介する。

(5) 3次元デジタル画像処理のアルゴリズム

横井茂樹, 鳥脇純一郎 (名大・工)

〔概要〕 3次元配列で与えられる3次元デジタル画像の処理のための基本処理アルゴリズムについて概観する。

(6) カーネギーメロン大学, メリーランド大学における画像理解研究の動向

大田友一 (筑波大), 松山隆司 (京大・工)

〔概要〕 両大学における最近の画像理解研究の動向について報告する。

* 研究会終了後、当研究所の簡単な見学を予定しております。

◆ 第43回 自然言語処理研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 吉田 将, 幹事: 榊 博史, 野村浩郷, 日高 達)

- 日 時** 昭和 59 年 5 月 24 日 (木) 午後 1 時～5 時
- 会 場** 国際電電 (KDD) 研究所 第一会議室
〔東京都目黒区中目黒 2-1-23, 国鉄：恵比寿駅西口下車, 地下鉄：日比谷線恵比寿下車, 山手線の外側三井銀行の左を入り, 徒歩 8 分, Tel. 03 (713) 0111〕
- 議 題**
- (1) フィルタリング操作を伴うパーズングの一形式
榊 博史, 橋本和夫, 鈴木雅実, 野垣内出 (KDD 研)
〔概要〕 文脈自由形書き替え規則を無条件に適用した結果生じる多数のパーズ木の中から木形式をもつ禁止規則からなるフィルタリング操作を用いて適切なパーズ木を得る手法について述べる。
- (2) 文レベルでのトランスファのための簡易な意味表現についての検討
橋本和夫, 鈴木雅実, 野垣内出, 榊 博史 (KDD 研)
〔概要〕 英日・日英機械翻訳において, 文レベルのトランスファを行う際に用いられる知識について検討し, それらを表現するための表現形式について考察を行う。
- (3) 基本動詞「MAKE」を含む文の日本語への訳し分け
田中穂積, 糸井理人 (東工大・工)
〔概要〕 融合方式による翻訳の能力を拡張するために, make を含む英語の日本語への訳し分け実験の結果について報告する。
- (4) 英文補完システムの補完能力評価
唐沢 博, 小川 均, 田村進一 (阪大・基礎工)
〔概要〕 筆者等が既に作成した英文補完システムの能力について人間との比較実験系とその結果を報告する。
- (5) 語彙関数と日本語の生成・言い替え 岡本哲也, 清水俊明 (電通大)
〔概要〕 メリチュークの語彙関数を話題にして, ロールを明示した文・文章の生成と言い替えについて若干の考察を行う。
- (6) 国語辞典からの情報抽出とその構造化
鶴丸弘昭, 内田 彰 (長崎大・工), 日高 達, 吉田 将 (九大・工)
〔概要〕 国語辞典に含まれている情報 (意味記述文, 用例, 反対語, 文法情報など) の抽出とその構造化について報告する。

◆ 第 45 回 計算機アーキテクチャ研究会 (発表件数：7 件)
(主査：飯塚 肇, 幹事：大島一純, 坂村 健)

- 日 時** 昭和 59 年 5 月 25 日 (金) 午前 10 時～午後 5 時
- 会 場** 広島大学工学部 セミナー室
〔東広島市西条町大字下見, 山陽本線：西条駅下車, バス：大学会館行き (10 分) 終点で下車, タクシー：10 分, Tel. 0824 (22) 7111〕
* なお, 新幹線広島駅からキャンパスまで 1 時間を見込んで下さい。
- 議 題**
- (1) 高速画像処理向きセルラ・アレイ・プロセッサ
宮田裕行, 磯西徹明, 菅 隆志, 岩瀬 正 (三菱電機)
- (2) 並列プログラミング言語の設計と実現
小畑正貴, 金田悠紀夫, 田中敏幸, 前川禎男 (神大・工)

- (3) 再構成可能な結合回路網を持つ MIMD 型プロセッサ構成方法
 大山敬三, 斉藤忠夫, 猪瀬 博 (東大・工)
- (4) 並列メモリシステムの一構成法
 白川洋充 (立命館大・理工)
- (5) 並列形のデータフローマシンとノイマンマシンの科学技術計算への適用性
 に関する検討
 藤原祥隆, 田中 忠 (武蔵野通研)
- (6) 実験的コンピュータネットワーク INTERNET について
 菊野 亨, 吉田典可, 石田賢治, 沖 也寸志 (広大・工)
- (7) 蓄積プログラム制御用処理装置のメモリアクセス高速化手法
 山田喬彦, 宮山 哲 (武蔵野通研)

* 今回は、電子通信学会電子計算機研究会と共催で開催します。上記の会告は、2月末現在の申込によるもので、プログラムは暫定的なものです。上期刊日以降の申込分を含めた最終的なプログラムは、電子通信学会誌4月号に掲載されますので、ご了承下さい。

◆ 第35回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数：4件)

(主査：木村 泉, 幹事：久保未沙, 花田収悦)

- 日 時 昭和59年5月30日(水) 午後1時半～5時
- 会 場 機械振興会館 地下3階2号室 (所在地は前記参照)
- 議 題 (1) ソフトウェア開発環境 Gandalf の機能とその評価
 斉藤信男, 北川和裕 (慶大・工)
 [概要] システムバージョン制御を中心とする Gandalf の機能の紹介と他システムとの比較による評価。
- (2) 日本語文章推敲支援ツールの試作とその作成環境
 牛島和夫, 日並順二 (九大・工)
 [概要] 実用規模の日本語文章を字面だけで解析して文章の推敲に有用な情報を提供するツールの設計・試作・作成環境。
- (3) 仕様部品からのプログラム合成システム (MOTHER SYSTEM) の構成
 西村高志, 廣道博史 (IPA), 藤野博之, 斎藤明久 (NEIS),
 斎藤 実, 田口安男 (NSIS)
 [概要] 外部仕様から機械的にプログラムを作成するために採用した機構 (再帰呼出, 並列処理, YACC) の効果に重点を置いて, システム構成を報告。
- (4) プログラム言語/システム LOOPS のオブジェクト指向からのアプローチ
 丸一威雄, 石川 裕, 所真理雄 (慶大・理工)
 [概要] LOOPS を LISP 上に実装した経験を基に, オブジェクト指向言語/システムの持つ一般的な機能およびその拡張概念について述べる。

◆ 知識工学と人工知能研究会

第35回研究会を7月12日(木) 於東北大にて開催いたします。発表申込み切日は4月末日といたします。

◆ データベース・システム研究会

第41回研究会を下記のごとく開催します。

日 時 昭和 59 年 6 月 5 日 (火) 午後 1 時半～5 時
会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室
発表件数 4 件 (予定)

◆ オペレーティング・システム研究会

昭和 59 年度の研究会開催予定は下記の通りです。ご関心のある方は、是非、研究会にご入会下さい。また、発表をご希望される方は、研究会主査、幹事、あるいは事務局研究会係までお早めにご連絡下さい。なお、研究会会場は、いずれも、機械振興会館の予定です。

6 月 8 日 (金)

- (1) 逐次型推論マシン PSI のオペレーティング・システム 服部 隆, 横井俊夫 (ICOT)
- (2) The M 44/44 X: An Experimental Virtual System L. A. Belady (日本 IBM)
- (3) Large Scale Operating System Development and Maintenance L. A. Belady (日本 IBM)
- (4) パネル討論

ソフトウェア工学の OS 開発への寄与

(司会) 高橋延匡(農工大), 東 基衛(日電), L. A. Belady (日本 IBM), 鈴木則久(東大), 山地克郎(富士通) 他 1 名

〔概要〕 OS 開発は大規模化しており、広範囲になっている。このため開発が困難になっている。OS 開発の問題点を具体的に探り、そこにソフトウェア工学の手法がどのように適用することができるかについて考察する。

9 月 21 日 (金), 22 日 (土)

特集: スーパーパーソナル・コンピュータ, オフィス情報システムの OS

〔概要〕 オフィス用, 学内用等の個人用途のコンピュータの OS を特集する。新しい OS 機能や OS 構成法等に注目する。たとえば、資源管理, 画面制御, マルチメディア, 通信・LAN, 人工知能応用, マン・マシン・インタフェース等を考えている。

12 月 14 日 (金)

特集: 記憶階層の利用と高性能化

〔概要〕 大容量の主記憶が利用可能になっている。そこで、効率のよい記憶階層の実現により、システムの高性能化を図る技術が重要である。記憶階層の設計および利用に関する技術を集める。

3 月 15 日 (金)

特集: システム性能評価

〔概要〕 システム性能評価に関する特集をする。特に、

- (1) モデリング, 実測, シミュレーションの技法,
- (2) OS, ネットワーク・システム, 分散システム, データベース・システム等の性能評価, に関する最近の研究, 技術を考えている。

◆ グラフィクスと CAD 研究会

「グラフィクス標準」の ISO, ANSI の資料(青焼)を、下記によって、お頒けいたします。(申込: 4 月 30 日まで、現金書留で。送料は資料の合計ページ数で、加算のこと。)

1. GKS (V 7.2) [4,000 円(290p)]
2. VDM (1983・11) [3,000 円(224p)]
3. GKS-3D (1983・12) [700 円(54p)]
4. PHIGS (1984・2) [6,000 円(450p)]
5. GKS と言語: Fortran (1983・11) [1,300 円(90p)], Pascal (1983・11) [250 円(18p)], Basic [220 円(16p)]

* (送料) 20 枚まで(200 円), 100 枚まで(400 円), 200 枚まで(800 円), 500 枚まで(1,500 円), 1000 枚まで(2,500 円), 1,000 枚以上(3,000 円)。

第25回通常総会のお知らせ

昭和59年度通常総会を下記によって開催いたします。なお、総会の案内状は、別途郵送いたしますので、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時 昭和59年5月18日(金) 15:00~16:00

会 場 機械振興会館大ホール(地下2階)

- 総会次第
1. 会長あいさつ
 2. 昭和58年度事業報告および決算報告
 3. 昭和59年度事業計画および予算審議
 4. 定款の変更
 5. 昭和58年度論文賞の発表と表彰
 6. 新役員の選定
 7. その他

なお、総会後ささやかな懇親パーティ(無料)を行います。(16:10~)

会員が一堂に会し、直接にお話しできる得難い機会ですので、皆様のご出席をお待ちいたしております。

ACM との Joint-membership について

このたび ACM と本会 (IPJS) との間で、Joint-membership の契約が成立し、相互に会費を20%相当額 discount することとなりました。

つきましては、今後本会会員で ACM 会員として ACM 会費を納入される際は、本会名と会員番号を明記のうえ、\$10.00 を差引きご送金ください。

また、1984年分の ACM 会費を納入済みの方は、お知らせがくれ大へん申訳ありませんが、discount は次年分から適用されますので、ご了承ください。

なお、情報処理学会として Joint-membership の規程を適用するのは、海外に居住している ACM の会員で、本会の海外会員として入会した方です。

新年度にあたって（お願い）

——会費・購読費の納入，新会員勧誘など——

新年度にあたって，会員の皆様につきの点につきご確認いただき，あわせてご協力のほどお願いいたします。

（1）59年度の会費および論文誌・欧文誌購読費の納入

1月下旬に会員個々に納付書（郵便振替用紙）を送付いたしました。未納の方は期限が過ぎておりますので，早急にご納入ください。

なお，本年3月に大学学部卒業予定の学生会員には，59年度会費は正会員（7,200円）として請求してあります。大学院修士課程に進まれる方は，学生会員として継続できますので，1月末にお届けした納付依頼書の記事を参照のうえ，会員番号を付し，大学院名・研究科名・専攻名，修了予定年月および会誌の送本先を変更する場合はその宛先等を必ずご連絡ください。

（2）滞納会費の納入

58年度会費未納者には，これまで再三にわたり請求いたしておりますが，このたびの請求によっても納付いただけない場合には，本学会から除名することがありますので，ご承知ください。

（3）会誌の送本先変更

勤務先，自宅住所に異動のある方は，必ずはがきにて会員番号を付し，早速にご連絡ください。

（4）退 会

書面（様式任意，はがき可）にてお申出ください。なお，58年度会費が未納の場合には，昨年4月以降送本した会誌を会費月割りで精算のうえ請求いたします。

（5）論文誌・欧文誌の新規購読

論文誌（隔月刊）および欧文誌（季刊）は有料頒布です。購読を希望する会員は2月号本欄添付の申込書を使用して，お申し込みください。

（6）新入会員の勧誘

4月は新入会のチャンスです。入会申込書を前号末尾に綴込みましたので，入会をご勧誘ください。

昭和 59 年度各種行事の予告について

5月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。
 なお、期日・会場が変更される場合もありますので、ご留意ください。

期 日	行 事	会 場
		(機械振興会館は省略)
5月 18日(金)	第25回通常総会	
7月 10日(火)	「論理設計自動化」シンポジウム	
15日(日)～17日(火)	1984年夏のシンポジウム	筑波研修センター
16日(月)	「グラフィックスとCAD」講習会	
8月 9日(木)～11日(土)	第17回 情報科学若手の会	国民宿舎 宮島ロッジ
9月 11日(火)～13日(木)	第29回 全国大会	東北工業大学
10月 16日(火)～17日(水)	「LAN/マルチメディアの応用と分散処理」シンポジウム	
11月 6日(火)～7日(水)	「自然言語処理技術」シンポジウム	
26日(月)～28日(水)	第15回 画像工学コンファレンス	農協ホール
27日(火)～28日(水)	「アーキテクチャワークショップ インジャパン」シンポジウム	
12月 6日(木)～7日(金)	「グラフィックスとCAD」シンポジウム	
11日(火)～12日(水)	「アドバンスト・データベース」 シンポジウム	
1月 8日(火)～10日(木)	第26回 プログラミング・シンポジウム	箱根 ホテル小涌園 (予定)
3月 12日(火)～14日(木)	第30回 全国大会	(東京)

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内

	(開催期日・場所)	(主催・問合せ先)
国際情報知識コンファレンス—1984	昭和59年5月6日(日) ～8日(火) 日本プレスセンターホール	(財)国際科学振興財団 Tel. 0298(51)1221
第1回 センシングフォーラム	昭和59年6月25日(月) ～26日(火) 学士会館本館	(社)計測自動制御学会 Tel. 03(814)4121

情報処理学会第29回全国大会論文募集要領

- 開催期日** 昭和59年9月11日(火)～13日(木)
- 会場** 東北工業大学(仙台市八木山香澄町35-1)
- 応募資格** 本学会個人会員(正会員, 学生会員)に限ります。共同発表の場合には, 登壇発表者は会員でなければなりません。なお, 59年度会費未納の会員は, 登壇発表ができません。また, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には申込を受け付けません。入会申込書は前号末尾に添付してあります。
- 申込料** 不要です。ただし, 登壇発表される方は, 論文集原稿を提出する際に, 必ず講演参加費(1件につき7,000円)を納入してください。
- 申込方法** 添付の講演申込用紙(1件1枚)に必要な事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒(大きさA4判…21cm×30cmのもの, 切手は不要)を同封のうえ, 59年5月7日(月)までに(必着), 下記申込先へお送りください。登壇発表は原則として1人1件とします。ただし, やむを得ず2件以上になる場合には, 講演参加費は1件ますごとに7,000円ずつを申しあげます。申込締切後の変更は一切受け付けません。
- 論文提出** 所定の原稿用紙を6月上旬に送付しますので, 昭和59年7月20日(金)までにご提出ください。発表は日本語または英語で行うものとしますので, 論文は日本語または英語に限ります。ただし, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には, 原稿用紙を送付しません。なお, 大会が1カ月繰上り, 発表申込および論文提出とも, 締切日が従来よりそれぞれ1カ月ほど繰り上りましたのでご注意ください。
- 申込先** 〒105 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内308-3号室
(社)情報処理学会 第29回全国大会係 電話 03(431)2808

~~~~~論文該当分野~~~~~

1. 基礎
 - a. 計算理論, b. アルゴリズム
 - c. プログラム理論, d. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
 - a. 専用マシン, b. 並列処理, c. 演算装置, d. 記憶装置, e. 周辺端末装置
 - f. 性能評価, g. 信頼性, h. 保守技術
 - i. マイクロプログラミング, j. スーパーコンピュータ, k. その他
3. オペレーティングシステム
4. プログラミング言語およびソフトウェア工学
 - a. プログラミング言語とその処理
 - b. プログラミング技法, c. 開発管理保守
 - d. プログラミングツール, e. 性能評価
 - f. 信頼性, g. その他
5. データベース
 - a. データベースマシン, b. データマネジメント, c. 分散データベース, d. 性能評価, e. 情報検索, f. その他
6. コンピュータネットワークおよび分散処理
 - a. システム, b. アーキテクチャ
 - c. プロトコル, d. 性能評価, e. その他
7. パターン処理および人工知能
 - a. 文字認識, b. 画像処理, c. 自然言語理解, d. 音声, e. 人工知能・知識工学
 - f. ロボット, g. その他
8. 日本語処理
 - a. 文解析合成, b. テキスト処理・辞書
 - c. 入出力, d. その他
9. 数値計算
10. マイクロコンピュータ
11. オフィスシステム
12. 技術, 産業への応用
 - a. CAD/CAM, b. CAE, c. グラフィックス, d. シミュレーション, e. その他
13. 社会システムへの応用
14. その他

講演番号

情報処理学会第 29 回 全国大会 講演申込用紙

掲載ページ

題目 ^(注1)					
ふりがな ^(注1) 氏名(勤務先)	申込者が複数の場合には左から右の順に記入し講演者の氏名には左上に○をつけて下さい。				
講演者会員番号 (入会手続中の方は 入会申込月日を記入)	氏名には必ずふりがなをつけて下さい。				
原稿用紙送付先	(所在地) 〒				
	(氏名)		Tel.		
論文該当分野 ^(注2)	(1)	(2)	(3)	*1 (注3)	*2 (注3)
<p>(注1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないで下さい。</p> <p>(注2) 論文募集要領の論文該当分野表を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入下さい。優先順位順に複数分野を記入して結構です。(例“データベース分野、性能評価”の場合、5dと書く)</p> <p>(注3) 複数件講演申し込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の*1 または*2 に記入して下さい。</p>					
——— 論 文 要 旨 (300 字程度) ———					

受付番号

情報システム研究会発足のお知らせ

技術一般がそうであるように、情報処理技術も、それが社会・経済そしてよりよき人間の生活のために如何にあらねばならぬかを考えることは、広く情報システム関係者の真剣に取り組むべき課題でありましょう。

ことに、情報処理技術は他の諸技術に比較しても急速に進歩しつつあり、情報システムの社会における普及・浸透にはめざましいものがあります。この際、情報そのもの、および人間を中心とした情報システムのあり方と構築法について、これまでの実際面での経験および新しい計算機システム技術（ハードウェア、ソフトウェア）・通信技術の進歩をふまえて、広く高い見地から現実に即した研究を行うことが必要です。

ここで情報システムとは、一般組織体での日常業務処理・意志決定あるいは情報サービスのために用いられるシステム、たとえばオフィス・インフォメーション・システム、経営情報システム、意志決定支援システム、予約・問合わせシステム、各種のデータベースサービスシステム等（ビデオテックス・テレテキスト等のいわゆるニューメディア、各種企業・機関内部あるいはこれら相互間の情報ネットワーク等を含む）を意味します。本研究会では、これを人間・組織を含む、情報の生産・流通・利用にかかわる一連の過程ととらえて研究をすすめてまいります。システム設計・開発・管理にたずさわる方々、情報システムの利用者、社会諸科学分野の研究者などの広いご参加を期待します。

◆ 目 標

1. 一般に、組織が情報システムを設計・構築・導入・維持・利用するにあたっての問題点を把握し、これらの問題を解決するために必要な概念および理論を形成し、それによって上の各段階についての方法論の確立をめざす。
2. 情報システムと個人、組織および社会との相互の影響の問題点を把握し、その対策を研究する。

◆ 主要な研究分野

1. 組織内部での情報に対する必要性の解析と明確化
2. 組織のための情報システムの解析および全体設計
3. 組織内部での情報およびデータの管理
4. 組織内部、および社会における情報システムの有効な利用法
5. 情報システムおよびその基礎となる情報技術と、個人・組織体・社会との関係
6. 個人・組織および社会の生活を向上させる情報システムの構築法

提案者（順不同）

浦 昭二（慶大）	有山正孝（電通大）	伊吹公夫（電電公社）	高木幹雄（東大）
槻木公一（国鉄）	中井 浩（JICST）	根岸正光（東大）	益田隆司（筑波大）
三浦大亮（東レエンジニアリング）		三輪真木子（エポックリサーチ）	
柳原一夫（慶大）	山本毅雄（情報大）	若尾暢宏（市況情報センター）	

昭和 59 年度研究会のお知らせ

昭和 59 年度は、下記の通り 16 研究会 (新設 1) で行います。(※ の情報システムが新設されました。)

- 年間を通して参加の場合は登録をお願いします。(但し本学会員に限る。)
- 登録されていない会員は研究会当日資料代 円 1,000 をいただきます。(但し、部数に制限があります。)

研究会名	主査, 幹事	取り扱う研究分野の例
1 自然言語処理	○ 吉田 将 神 博史 野村浩郷 日高 達	言語理論, 言語行動, 言語利用, 言語資料・統計, 漢字処理, 専門用語・辞書, 構文解析, 意味・文脈処理, 知識処理, 機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア
2 データベース・システム	○ 酒井博敏 有澤 博 三浦孝夫 吉田郁三	基礎理論, アーキテクチャ (分散 DB, DB マシン, 汎 DBMS), データ・モデル, DB 設計, DB 言語, 応用 (OA, 設計, 診断, 研究開発など)
3 知識工学と人工知能	○ 志村正道 石塚 満	知識の表現と獲得, 知識ベース, エキスパートシステム, 推論と学習, 定理証明, 発見的手法, 自動プログラム合成, 知能ロボット, パターン理解, 人工知能用語
4 記号処理	○ 間野浩太郎 稲田信幸 奥乃 博 寺島元章	記号処理言語とシステム, 記号処理の理論と応用 (数式処理, 言語処理, ゲーム, 知識ベース, 論理プログラミング, ラムダ計算, 関数型言語), 記号処理アーキテクチャ, 記号処理の技法
5 ソフトウェア工学	○ 木村 泉 久保未沙 花田収悦	生産手法・工具・環境, 管理と計量, 利用者界面, 要員の教育・訓練と人間工学, 生産事例
6 マイクロコンピュータ	○ 安田寿明 斎藤 剛 若鳥陸夫 脇 英世	システムアーキテクチャ, プログラム言語, OS 体系, 応用新分野, ネットワーク, 普及動向および普及促進
7 計算機アーキテクチャ	○ 飯塚 肇 大島一純 坂村 健	計算機システムの設計・構成・制御技術, ファームウェア技術, VLSI 向きアーキテクチャ, 応用指向・問題向きアーキテクチャ, 各種並列アーキテクチャ
8 オペレーティング・システム	○ 益田隆司 紀 一誠 関野 陽 吉澤康文	オペレーティング・システム (大型/小型) の構造論, 設計思想, 記述方式, 実現, 人間工学的評価, 計算機システムの性能解析, モデル化技法, 信頼性
9 コンピュータビジョン	○ 辻 三郎 木戸出正継 杉原厚吉	画像処理一般 (強調・復元, 認識・理解, アルゴリズム), 専用プロセッサ, 言語, ロボットビジョン, 物体認識, 視覚系のモデル, 動画像解析, 画像データベース
10 設計自動化	○ 村井真一 上原貴夫 向殿政男	LSI/VLSI・プリント板・論理装置等の論理設計・実装設計・検査設計の自動化, ハードウェア記述言語, 階層化設計手法, 知識ベース CAD, EWS
11 分散処理システム	○ 野口正一 白鳥則郎 河岡 司	広域分散, ローカル・ネットワーク, 機能分散, 負荷分散等の分散処理システムの設計と運用技術, 計算機網技術とその応用に関する理論と実際
12 日本文入力方式	○ 山田尚勇 坂下善彦 首藤正道	文章の分野別特徴, 人間工学的基礎, 各種入力法の研究と比較, オペレータ教育法, 文書処理方式と制御言語, オフィス・オートメーションとのかかわり
13 グラフィックスと CAD	○ 田嶋太郎 井越昌紀 木村文彦 松家英雄	グラフィックス言語および標準化, ディスプレイ技術, グラフィックス・データベース, マン・マシン・インタラクション, アニメーション, CAD/CAM への応用
14 数値解析	○ 一松 信 名取 亮 浜田穂積	数値計算とその解析, 特に超大型計算や超高精度計算, 数式処理との結合, 数学的ソフトウェアの移植, 計算機や言語への提案, 計算の能率化手法
15 ソフトウェア基礎論	○ 淵 一博 雨宮真人 二村良彦	言語設計, 形式的仕様, プログラム意味論・検証論, プログラムの変換合成, プログラミング方法論, 関数型・論理型プログラミング, 並列処理, データ意味論
16 ※ 情報システム	○ 浦 昭二 山本毅雄 柳原一夫 若尾暢宏	情報システム (OIS, MIS, 情報サービスなど) の分析・設計・構築・利用, 情報ニーズ, 情報・データの管理等の理論と実際, 情報システムと人間・組織・社会

59 年度研究会（新規）登録申込書

登録上の注意

- 1) 本申込書は新規の方のみご利用ください。（58 年度に登録された方は使用できません。）
- 2) 58 年度にいずれかの研究会に登録された方には、別途各登録者宛に「昭和 59 年度研究会の登録について（お願い）」を送付いたします（3 月上旬）。
- 3) 登録は本学会員に限ります。各研究会登録費は年間下表のとおりです。登録者には、研究会に欠席の場合資料を後日郵送します。
- 4) 登録は、登録費の領収をもって正式の受け付けとします。おそくとも 5 月末日までにご登録下さい。6 月以降になると既刊の資料は確保しかねますので、ご承知おき下さい。

（ご希望の研究会の申込み欄に○印をつけること）

申込み	研究会名	登録費	申込み	研究会名	登録費
	自然言語処理	3,000円		コンピュータビジョン	3,500円
	データベース・システム	3,000円		設計自動化	3,000円
	知識工学と人工知能	2,500円		分散処理システム	3,000円
	記号処理	2,500円		日本文入力方式	3,000円
	ソフトウェア工学	3,000円		グラフィクスと CAD	2,500円
	マイクロコンピュータ	2,500円		数値解析	2,500円
	計算機アーキテクチャ	2,500円		ソフトウェア基礎論	2,500円
	オペレーティング・システム	2,500円		情報システム	2,500円

（フリガナ）
○申込み会員氏名 _____ [正・学・賛] 会員 No. _____

○勤務先名・所属 _____ Tel. _____

所在地 (〒) _____

○資料送付先（上記勤務先以外の場合のみ記入）。

(〒) _____

○登録費（年間）

2,500円 × _____ 件	}	= _____ 円也
3,000円 × _____ 件		
3,500円 × _____ 件		

○次のいずれかの方法でご送金下さい。いずれの場合も必ず登録申込書が必要です。なお、会社名などで送金の場合は、別途個人名を事務局までお知らせ下さい。

現金書留：登録費と登録申込書を同封のこと。 現金持参

郵便払込：払込用紙に希望研究会名を記入のこと。

口座番号「東京 5-83484」

銀行振込：第一勧銀虎ノ門支店 普通口座 No. 1013945

○払込み日 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

○備考 情報処理学会の請求書（ 通）、見積書（ 通）、納品書（ 通）が必要です。

（社）情報処理学会 研究会係 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 Tel. 03(431)2808

「LAN／マルチメディアの応用と分散処理」シンポジウム 論 文 募 集

近年、オフィスオートメーション、テレマティックサービスなど高度な分散処理が、LAN、マルチメディア通信技術などの進展と相俟って急速に進もうとしている。

本シンポジウムでは、このような状況から LAN、マルチメディアを利用した新しい分散処理システムについて基礎的な問題から適用事例まで幅広く質の高い論文を募集し、現状を総括すると共に、今後の技術の方向を展望する。

日 時 昭和 59 年 10 月 16 日(火), 17 日(水) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

トピックス

1. ネットワーク設計(ネットワークシステム, ハードウェア, 相互接続など)
2. ネットワーク・ソフトウェア (ネットワーク OS, 言語, 分散データベースなど)
3. システム評価と解析 (システム評価, 方式評価, 利用者側の評価など)
4. 高位プロトコルと応用 (ネットワーク・アーキテクチャ, ワークステーション, プロトコル, 通信処理, ドキュメント通信, 電子メール, 画像通信, INS, テレマティックサービスなど)

実施方法 (1) 応募される場合, アブストラクトはシンポジウムの主旨およびテーマ(トピックス)に合致させ, 以下の要領でできるだけ分りやすく作成すること。

1 ページ目 表題, 著者名, 所属, 代表連絡先 (住所, 電話番号)

2 ページ目 表題, 論文構成 (章, 節), キーワード (5~10 個)

3 ページ目以降: アブストラクト文

(a) 文章 A 4 : 3 枚以内 (1,000~2,000 字以内)

論文のポイントを, (1)背景, (2)目的, (3)論文の特徴, (4)その他 の形式で記述すること。

(b) 図・表 A 4 : 3 枚以内

(2) アブストラクト締切 5 月 31 日 (多数の応募が予想されますので, 期日厳守のこと)。

(3) 採否の決定 6 月 18 日までに連絡する。

(4) 本論文は和文 (9,000 字以内) とし, 7 月 31 日までに提出すること。採択論文については proceedings を発行する。

連絡先・論文提出先 情報処理学会 シンポジウム係

プログラミング・シンポジウムの事務連絡について

これまで、慶応工学会にお世話いただいた標記シンポジウムは、本年4月以降、当学会事務局でお世話することとなりました。今後一切の問合せは、学会事務局へお願いいたします。

つきましては、この事務取扱の移管を機に、特に**定価の半額**でこれまで発行された論文集の在庫を整理いたします。最後の機会ですので、とくに各部局、学科等のライブラリに備えていただければ幸いです。(在庫数に凸凹がありますので、下欄(コピー可)の購入希望の報告集コードに○印を付し(2部以上のときは部数も)、5月末日までに仮申込みください。当方から在庫を確認のうえ、あらためて連絡いたしますので、所属・氏名・Telは必ずご記入ください。)

○プログラミング・シンポジウム報告集			14	1971	7/ 8~10	情報公害	500
(コード)		(定価, 円)	15	1971	8/16~18	システム制御	1,800
01	1970	第11回報告集	16	1972	7/ 6~ 8	システム評価	2,500
02	1972	第13回報告集	17	1972	7/17~19	ミニコンのソフトウェアとネットワーク	1,500
03	1973	第14回報告集	18	1973	7/17~19	ダイナミック・マイクロプログラミング	2,000
04	1974	第15回報告集	19	1974	7/ 7~ 9	記号処理	2,000
05	1975	第16回報告集	110	1975	7/22~24	構造的プログラミングとその経験	3,000
06	1976	第17回報告集	111	1976	7/16~18	職業的プログラマの育成	2,700
07	1977	第18回報告集	112	1977	7/14~16	マイクロコンピュータとソフトウェア	3,000
08	1978	第19回報告集	113	1978	7/17~20	日本語情報処理	5,000
09	1979	第20回報告集	114	1979	7/19~21	よいプログラムを作るには	3,000
010	1980	第21回報告集	115	1980	7/20~22	作譜工程の評価・改良・自動化	3,000
011	1981	第22回報告集	116	1981	7/16~18	ソフトウェア業と技術移転	1,000
012	1982	第23回報告集	117	1982	7/22~24	マイコン・パソコンにおけるソフトウェア問題	1,200
013	1983	第24回報告集					
○夏のシンポジウム報告集							
(コード)		(標題) (定価, 円)					
11	1969	7/14~16 コンパイラ自動作成					1,600
12	1970	8/26~28 グラフィック・ディスプレイ					1,000
13	1970	9/ 2~ 5 オペレーティング・システムズ					2,000